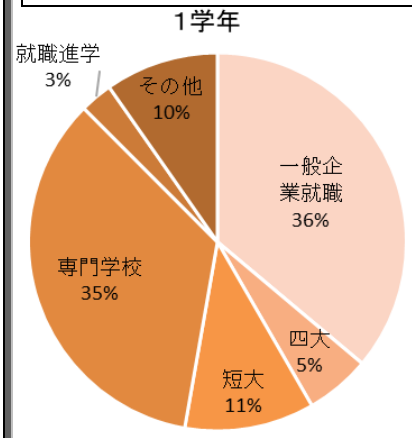
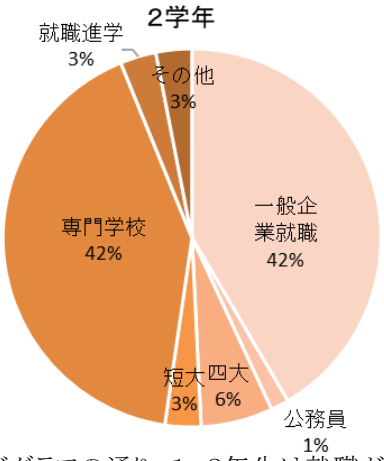
小名高進路だより

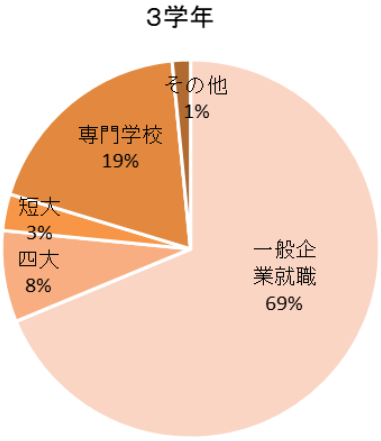
令和元年度
第１号

令和元年８月２６日（月）
小名浜高等学校 進路指導部

第１回進路希望調査結果

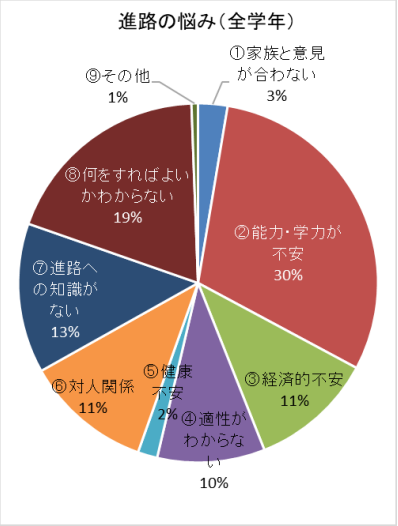






５月に実施した進路希望調査の結果がグラフの通り、1，2年生は就職が約4割、進学が約6割、3年は就職が約7割、進学は3割となりました。就職と進学の割合としては例年の傾向と言えますが、3年生の就職希望が例年よりやや多い結果となりました。背景に地元求人数の増加も影響していると感じます。（裏面に詳細）

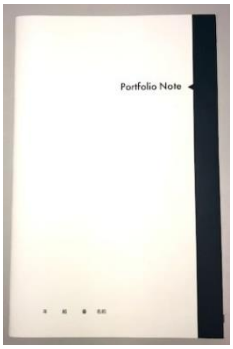
1、2年生の進学希望の中で特に多い専門学校はこの数年増加傾向にあり、一方、大学進学が減少傾向にあります。専門学校は自分が目指す将来の職業に直結するため、学校選びが実質職業選択と言えます。単に興味関心だけでなく、自分の適性を十分に知り、その分野の将来性を視野に入れながら、学科やコースの学習内容をよく調べた上で学校を選択しなければなりません。間違った判断や安易な選択をしてしまうと入学金や授業料など大きな損失になりかねませんので今から時間をかけて研究するようにしましょう。



今回も調査の中で、「進路に関する悩み」を尋ねたところ、右のグラフの通り②がどの学年も最も高い数値となりました。やはり日々の授業にしっかり専念して、特に基礎学力を身につけることが最も大切なことになります。そうすることで少しでも不安を取り除き、自信につなげてください。③は1、2年生の回答で多く、普段から家庭で進路についてよく話をしておくことが大切です。進学を希望しているのであれば早めに伝え、学費についても具体的に相談をしていかなければなりません。④⑦⑧については特に1、2年生は職業に関心を持ち、自分の性格や適性について考えてみることが大切です。さらに、様々な進路ガイダンス、進路講話、職場見学、そしてインターンシップ等の進路関係の行事には積極的に参加して自分自身の進路意識や職業観を高めてください。

１学期の進路行事の振り返り

NOLTY 手帳の説明会



4月17日に1年生を対象に㈱NOLTYプランナーズの角張氏よりNOLTY手帳の効果的な活用について講義をしてもらいました。手帳は平成28年度より活用を始め、今年で4年目を迎えます。今や集会等で持参する姿が多く見受けられるようになり、メモを取る習慣が身につきつつあります。人の話をよく聞き、メモを取ることは言うまでもなく、その日、1週間、1学期の振り返りも大切です。次の確実な行動につなげるためにも振り返りと反省を踏まえて自分のやるべきことをしっかり管理して充実した高校生活を送るようにしてください。

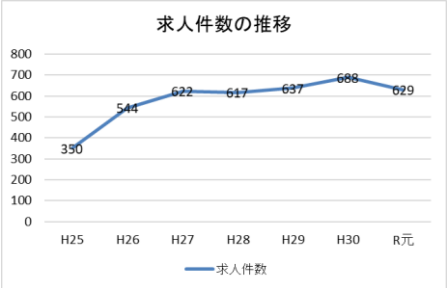
また、今年度からこれまでの手帳に加えてPortfolioNoteを用意しました。これは来年度より変わる新しい大学入試制度に対応したものです。これからは益々「主体性」を重んじる時代になってきます。入試でも従来のテストの点数だけでなく在学中に打ち込んだことが評価の対象となるわけです。進学だけでなく、就職の履歴書作成でも生かすことができます。そのためには普段から取り組んだことを記録しておかなければなりません。2年生にも進路指導部より説明をしましたが、改めてPortfolioNoteを開き、資格・検定取得だけでなく、部活動、生徒会・委員会活動、講演会、その他学校行事についての記録を残しておいてください。

基礎力診断テスト結果報告会

5月17日に4月に実施した基礎力診断テストの結果報告会を視聴覚室にて行いました。ベネッセコーポレーション東北支社本県担当の井上氏を講師に「自分の進路を切り開け！～基礎力診断テストの活用法～」と題し①基礎力診断テストについて②高校卒業後の進路について③学習方法について1、2年生それぞれ

に講義をしていただきました。何故基礎学力が大切なのか？　それは将来の進路実現に必要なことだからです。講義では企業が新卒者に期待する能力の1位がコミュニケーション力、2位が基礎学力、3位が責任感という結果も紹介されましたが、基礎学力を確実に身につけることで学力と同時に様々な面での自信に変えてほしいのです。それによってコミュニケーション力や責任感も備わるようになると感じます。

基礎学力がいずれの進路目標を達成するためには不可欠であると考え、それぞれが各教科の弱点箇所を見いだして、カバーしていくことがいかに大切であるか理解しなければなりません。次回の基礎力診断テストは来年3学期始業日1月14日に実施されます。学習到達ゾーン（GTZ）も1つでも上の段階に上がれるように日々の努力を継続させましょう。



求人票受付開始と応募前職場見学

7月1日に求人票が公開され、地元企業は8月9日現在で職種別求人件数が629件となり、昨年度最終数値に迫る数となりました。この求人数の多さには驚きを隠せません。これは来客数にも表れています。かつては工業高校を対象にした技術系の職種も普通高校に対象となったり、一部の高校に指定していた非公開の求人票も公開することも多くなったりしていることなど、根底に少子化による労働人口の減少が要因として考えられます。いずれにしても求職しやすい環境があることに間違いありません。3年生は職場見学届を早めに提出していたため、夏休み開始と同時に職場見学がスムーズに行われました。事業所からも「説明をメモをとりながら真剣に聞いていた」「入社したいという熱意を感じた」など良い評価をいただきました。就職活動の大きなステップとなる職場見学を無事クリアした今、求人数の増加と各企業の採用意欲の高さを追い風に履歴書の準備と面接試験対策を万全にし、強気の姿勢で入社試験に臨んでください。

イオンリテール講演会及びワークショップ

7月9日、「地域産業の役割と求める人材像についての講演会及び課題探究型ワークショップ」を昨年度に引き続き2年生対象にイオンモールいわき小名浜店で開催することができました。始めにイオンリテール東北カンパニー人事総務部の高山氏より会社概要と基本理念等をお話しいただき、その後、「働くってなんだろう？」をテーマに取り組む班別のワークショップのご指導をしていただきました。生徒は活発に意見交換をし、発表も積極的に行っていました。以下、生徒の感想文の抜粋を紹介します。

イオンの地域産業に果たしている役割をどのように感じたか？　※数字は同様の感想数

◇災害時に備えた設備など地元の人たちのことをよく考えている(24)　◇雇用の場が増え、小名浜が明るく楽しくなったので良かった(5)　◇植樹活動、慈善活動、環境など様々な取組みに感心した(4)　◇地域の活性化と小名浜に住んでいる人々に安心感を与えている空間だと感じた(4)　◇地産地消だけでなく地産他消の促進に貢献していると感じた(4)　◇お客様を第1に考えている理念が素晴らしい(4)など

ワークショップに参加して感じたこと、または自分自身について気づいたことは何か？

◇人それぞれの価値観、考えがあるんだなと感じ、それらを尊重し普段の生活や話し合いで実行できればいいなと思った(11)　◇自分の意見を発表したり、相手の意見も聞くことができ、お互いを知ることができて良かった。コミュニケーションの大切さを学んだ(9)　◇自分が大切にしたいキーワードをこれからも大切にしたいと改めて感じた(7)　◇普段あまり話したことのない隣のクラスの人とも話し合いができてよかった(7)　◇自分自身の将来について考えるきっかけになった。自分は何をしたら良いのか少しずつ見えてきた。(5)

今回の参加により自分自身の進路について考えるきっかけとなったか？

◇自分の進路について見つめ直したい。進路を改めて考え直す機会となった(18)　◇講師の方の仕事でのやりがいや仕事に対する姿勢が素晴らしいと感じたので自分もあのような姿勢で仕事に臨みたい(6)　◇地域のために考え行動する仕事も進路の1つとして考えたいと思った(2)　◇進路は進学だが、学校や受験科目についてしっかり調べて行こうと思った　◇進学の学校選びでも学校の教育理念を見てみようと思った　◇社員は日々の勉強や努力をして勤めていることがわかり、自分も自ら学べるようにしたい　◇今後どんな生活設計を立てていくのか「将来」について考えることができた…など同様の内容がほとんどでした。

今回の目標は大きく2つあげられます。1つ目はイオンリテールという企業が地域とどのように関わり、何を目指し、どう根ざしてきたのかを理解することです。2つ目は他人の価値観を認めたり、共感したりすることを経験すること、そして自分が大切にしたいと思うことを再認識することです。前者はコミュニケーション力につながり、後者は仕事のやりがいや生きる力の原動力になります。感想文を見る限り目標は達成できたのではないでしょうか。感想文はいずれも感性豊かな内容で、今回の行事が進路を考える上で大きなきっかけになったのではないかと確信しました。

２学期の主な進路行事　（1学年）10/31 ジョブサポーター講話、11/7 仕事人の話をきいてみよう　（2学年）11/13～15 ジュニアインターンシップ　（3学年）9/16 就職試験開始、10/30 合同就職面接会　（全学年）11/21PTA進路講演会

最後に　3年生はいよいよ就職試験が始まります。就職試験までの3週間の間にどれだけ準備を整えられるか、それが合否の明暗を分けますので、より集中力を高めて、準備を進めていくようにしてください。